

青木産婦人科医院
アートワーク



Artist: すぎはらけいたろう × Art Direction: 株式会社タウンアート

青木産婦人科を象徴する木。

先代がタネを植えた木は時間をかけて大きな木になりました。

タネから小さな芽がでて、根をはり、葉をつけ、やがて実がなる。

そこに動物たちが集まり、実から種が出て、

また次の小さな木へと成長していく。

命の成長。

命の継承や循環にはいつも希望や願い、

時には不安も伴います。



地域の、母の、父の、子の、
喜びを分かち合い、辛いことも共に感じ
次の命へとつなげていく。
それを見守るホームドクター。
地域の見守る大きな木のような。
それが青木産婦人科。



コミュニティルームの大きな木は、
地域の掲示板になるように。
出産や子育て、家族に関する悩みやなど、
施設利用者やご家族が「実」にしたためてほしい。

それを見た利用者や職員が返事を書く。
何気ないことでも、それが次の「希望＝タネ」へつながっていく。
そんな場所になるように。



一定期間掲示された実（紙）は定期的に「収穫」する。

収穫箱をつくり、そこに貯めていく。

収穫箱を共有できる場所に置くことで、

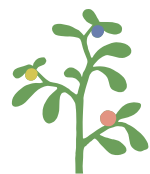
実（紙）は利用者や病院の知恵となり、

希望と願いの詰まった財産になっていきます。

キッズルームの大きな木は、触れて愉しめるように。
木の実や動物たちを触って、色々な想像を膨らませてほしい。

いつでも見守っているよ。いつでも待っているよ。
ここにいる動物たちのように、いつでも遊びにこられる、
そんな場所になるように。





ここで生まれてくる新しい命が、
いつか立派な大きな木になるよう、
願いを込めて。